

森林資源モニタリング調査業務処理要領

1 業務名

森林資源モニタリング調査業務5区（十勝）

2 業務の概要

持続可能な森林経営の推進に資する観点から、森林の状態とその変化の動向を把握・評価することにより、地域森林計画における森林の整備及び保全に係る基本的な事項等を定めるのに必要な客観的資料を得ることを目的とする。

3 業務の内容

民有林において、蓄積テーブルや施業体系等の見直しのための基礎資料収集を目的として、標準地調査等（立木調査、更新木調査、下層植生及び土壌侵食調査等）を行う。

4 受託者の遵守事項

- （１）受託者は、林野火災その他の災害予防については万全の措置を講ずるものとする。
- （２）受託者は、林内の立木、施設等を損傷しないように留意するものとする。

5 現地調査に当たって

（１）業務処理計画書

受託者は、委託業務の円滑な執行を確保するため、委託契約締結後、速やかに委託業務の作業工程を記載した業務処理計画書（第1号様式）、及び技術者名簿並びに経歴書を北海道水産林務部林務局森林計画課（以下「森林計画課」という。）に提出しなければならない。

（２）事前報告

受託者は、現地調査を実施する際は、森林計画課及びその調査プロットを管轄する（総合）振興局林務課（以下「林務課」という。）へ調査プロット及び予定期間、調査員全員の氏名、移動に使用する車両の車種及びナンバー等を「森林資源モニタリング調査現地調査予定表」（第2号様式）によりFAX等で現地調査開始の1週間前までに連絡することとする。

なお、森林所有者に1週間前までに入林の通知をし、必要に応じて入林許可の申請、林道のゲートの鍵の借受をする。

（３）受託者証明書

現地調査を実施する際は、森林計画課が発行する森林資源モニタリング調査業務受託者証明書の1部を車内の見えやすい所に提示し、1部を携行しなければならない。

なお、受託者は受託者証明書を受領した場合は速やかに受領書（第3号様式）を提出するものとし、返納にあたっては返納書（第3号様式）を添えて受託者証明書を返却するものとする。また、紛失及び破損した場合にあっては、速やかに森林計画課へ報告することとする。

（４）各種法令により行為の制限のある箇所での現地調査

国立公園又は国定公園の特別地域内その他各種法令により行為の制限がある箇所に位置する調査プロットで現地調査を実施する際は、許可申請が必要な場合があるので、当該申請の認可後に行うこととする。

(5) 打合せ等

受託者は、委託業務等を適正かつ円滑に実施するため、森林計画課と常に密接な連絡をとり、必要と認められる時は適宜打合せを実施するものとし、その内容について、その都度、受託者は打合せ簿（第4号様式）に記録し、相互に確認しなければならない。

(6) その他

業務内容で不明な点等があった場合は森林計画課で対応するが、現地調査が円滑に進められるよう、次の事項については調査プロットを管轄する（総合）振興局林務課又は森林室に問い合わせることとする。（別紙1参照）

ア 一般民有林に関すること（林道のゲートや路網状況等）

：該当（総合）振興局林務課

：該当（総合）振興局森林室普及課

6 業務の内容

(1) 現地調査

ア 調査箇所数及び位置

① 別紙2「森林資源モニタリング調査箇所数一覧」のとおり

② 別紙3「森林資源モニタリング調査R4発注箇所一覧」のとおり

イ 現地調査の実施期間

森林内の調査のため、おおむね令和4年(2022年)11月18日(金)を期限とする。ただし、大幅に期限を超えるやむを得ない事情が生じた場合は、速やかに森林計画課と協議を行うものとする。

ウ 現地調査の実施体制

専門的な知識を有する者（例：技術士（森林部門、環境部門）、生物分類技能検定1級又は2級、林業普及指導員、林業技士（森林環境部門）、樹木医等の植物調査に係る有資格者、又は、森林内での測樹の職務に一定期間従事した技術者（以下「調査技師」という。）を含む1班2名以上の班体制とし、現地調査を実施するものとする。

なお、技術者の資格区分は、別表に定めるとおりとする。

エ 現地調査の内容

別添「森林資源モニタリング調査現地調査実施マニュアル（以下「実施マニュアル」という。）」に基づき現地調査を行うものとする。

(2) 中間報告

受託者は、毎月10日までに前月までの現地調査の進捗状況について森林計画課に報告しなければならない（様式任意）。

なお、現地調査を実施できない箇所がある場合は、別紙4「調査不可能プロット一覧表」により取りまとめ（写真貼付）のうえ、全ての現地調査終了後、速やかに森林計画課へ提出する。

(3) 調査結果取りまとめ

現地調査の結果は、調査プロットごとに実施マニュアルに基づいて調査表に記載する。また調査表各様式の記載内容をエクセル形式の集計用調査表（第5号様式）に取りまとめの上、全ての調査プロットに係る集計用調査表の記載内容を調査表集計表（第6号様式）に取りまとめる。

(ア) 調査表（各様式は実施マニュアルに添付）

様式１－１：調査プロット到達経路情報

様式１－２：調査プロット到達経路情報（地図）

様式１－３：調査プロット到達経路情報（写真）

様式２－１：調査プロット情報

様式２－２：調査プロット情報（見取り図）

様式２－３：調査プロット情報（原点写真１）

様式２－４：調査プロット情報（原点写真２）

様式２－５：調査プロット情報（プロット内側写真１）

様式２－６：調査プロット情報（プロット内側写真２）

様式３－１：立木調査表

様式３－２：立木調査総括表※天然林のみ

様式４：更新木調査表※天然林のみ

様式５：下層植生及び土壌侵食調査表

様式６：資料調査表

(イ) 集計用調査表（第5号様式）

調査プロットごとに調査表各様式の記載内容をエクセル形式の集計用調査表に取りまとめること。

(ウ) 調査表集計表（第6号様式）

全ての調査プロットに係る集計用調査表の記載内容を調査表集計表に取りまとめること。

(エ) 記録媒体

調査表及び集計用調査表、調査表集計表は、電子データとしてCD-R等電子媒体に記録すること。

7 実績報告書の提出

受託者は、本業務終了後速やかに、「実績報告書（第7号様式）」及び「6 業務の内容（3）」により取りまとめた、次の成果品（調査表）を森林計画課に提出する。

(1) 調査表の電子ファイル（CD-R等） 1組

(2) 調査表の出力表 1部

8 その他

この要領に定める事項以外の内容については、森林計画課と協議のうえ実施すること。

別表

技術者の資格区分

技術者の名称	技 術 経 歴
調査技師	<p>次の各号の一に該当する者で、森林調査業務（測樹）について専門的知識及び技術を有すると認められる者</p> <p>1 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学（同法108条に規定する大学（以下「短期大学」という）を除く。）又は旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学を卒業した者であって、卒業後、森林内での測樹の職務に従事した期間が8年以上ある者</p> <p>2 短期大学、学校教育法による高等専門学校又は旧専門学校令（明治36年勅令第61号）による専門学校を卒業した者であって、卒業後、森林内での測樹の職務に従事した期間が13年以上ある者</p> <p>3 学校教育法による高等学校もしくは旧中学校令（昭和18年勅令第36号）による中等学校を卒業した者であって、卒業後、森林内での測樹の職務に従事した期間が18年以上ある者</p>

別紙 1

一般民有林に関する問い合わせ先

林務課	森林室	市町村
<p>十勝総合振興局林務課 帯広市東3条南3丁目 TEL0155-26-9053</p> <p>担当：森林整備係長</p>	<p>十勝総合振興局森林室足寄事務所 足寄町南3条4丁目 TEL0156-25-3510</p> <p>担当：主査</p>	<p>士幌町・上士幌町・本別町・足寄町・陸別町</p>

別紙2

森林資源モニタリング調査箇所数一覧

設計番号	計画区	調査区分	一般民有林	道有林	計
5区（十勝）	十勝	本調査	22箇所	0箇所	22箇所

別紙3
森林資源モニタリング調査 R4発注箇所一覧

調査地ID	所在振興局	所在市町村	林班	小班	所有区分	調査区	森林室	調査区分
11403513	14+勝	03上土幌町	0022	0002	一民	5区	足寄事務所	本調査
11403514	14+勝	03上土幌町	0023	0004	一民	5区	足寄事務所	本調査
11403515	14+勝	03上土幌町	0023	0005	一民	5区	足寄事務所	本調査
11403516	14+勝	03上土幌町	0024	0004	一民	5区	足寄事務所	本調査
11416498	14+勝	16本別町	0124	0029	一民	5区	足寄事務所	本調査
11416517	14+勝	16本別町	0033	0003	一民	5区	足寄事務所	本調査
11416518	14+勝	16本別町	0039	0003	一民	5区	足寄事務所	本調査
11416520	14+勝	16本別町	0101	0018	一民	5区	足寄事務所	本調査
11416522	14+勝	16本別町	0125	0005	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417441	14+勝	17足寄町	0114	0005	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417523	14+勝	17足寄町	0085	0001	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417524	14+勝	17足寄町	0096	0002	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417525	14+勝	17足寄町	0111	0023	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417529	14+勝	17足寄町	0199	0001	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417530	14+勝	17足寄町	0227	0003	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417531	14+勝	17足寄町	0236	0032	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417532	14+勝	17足寄町	0242	0004	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417534	14+勝	17足寄町	0251	0021	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417535	14+勝	17足寄町	0256	0003	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417537	14+勝	17足寄町	0307	0029	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417539	14+勝	17足寄町	0330	0016	一民	5区	足寄事務所	本調査
11417540	14+勝	17足寄町	0339	0001	一民	5区	足寄事務所	本調査

別紙 4

調査不可能プロット一覧表

[illegible]

業務処理計画書

年 月 日

北海道知事 鈴木直道様

受託者 住所
氏名

業務名

[illegible]

第 2 号様式

森林資源モニタリング調査現地調査予定表

水産林務部林務局森林計画課計画樹立係長
〇〇（総合）振興局産業振興部林務課森林整備係長
〇〇（総合）振興局産業振興部林務課主査（林務）
〇〇森林室森林整備課主査（計画）
次のとおり、「森林資源モニタリング調査現地調査予定表」を提出します。

年 月 日

実施日	予定時間	I D	調 査 員		車両ナンバー	備 考
		市町村			車 種	
月 日	時 分から					
	時 分まで					
月 日	時 分から					
	時 分まで					
月 日	時 分から					
	時 分まで					
月 日	時 分から					
	時 分まで					
月 日	時 分から					
	時 分まで					
月 日	時 分から					
	時 分まで					

- 注 1) 各（総合）振興局（一般民有林）又は管理区（道有林）単位で別葉とし、1 週間単位で作成すること。
- 注 2) 現地調査において携帯電話等の連絡手段を携行する場合は、備考欄に電話番号等を記載すること。
- 注 3) 森林計画課、（総合）振興局産業振興部林務課及び森林室森林整備課に提出後、記載内容に変更があった場合は、速やかに連絡すること。
- 注 4) 職・氏名欄は業務処理責任者の職・氏名を記載すること。

企 業 名	
所 属	
職・氏名	
連 絡 先	Tel ー ー

受 領 (返 納) 書

年 月 日

北海道知事 鈴木直道様

住所

受託者

氏名

印

森林資源モニタリング調査業務のため、下記の資料を受領しました(返納します)。

記

1 受領(返納)品

受託者証明書 枚

2 借用期間

自 年 月 日
至 年 月 日

打合せ簿

[確認・指示・承諾・協議]

業務名			業 務 担当員			
受託者名			業務処理 責任者			
協議年月日		年 月 日				
	記載者	内 容				
協 議 事 項		-----				

合 意 事 項		-----				

協議簿最終取交日		年 月 日	協議簿通し番号		No.	

第5号様式 集計用調査表

予備調査と予備調査

基本情報と様式1-1

調査プロットID	一民・道有林	地域	市町村	林班	小班	調査年月日	調査者		指定座標緯度			指定座標経度			GPS機種	原点までの写真撮影枚数	原点航緯度			原点航経度			プロット設定箇所	プロット位置変更事由	調査の実施可否	到達不可能理由	斜面方位	斜面傾斜	局所地形	立木密度	標高	車道からの距離	集落からの距離		
							所属	氏名	緯度(度)	緯度(分)	緯度(秒)	経度(度)	経度(分)	経度(秒)			緯度(度)	緯度(分)	緯度(秒)	経度(度)	経度(分)	経度(秒)													
0	道有林	0		00000	0000	1900/1/0		1900/1/0	1900/1/0	°	分	.00秒	°	分	.00秒	0.00	枚	°	分	.00秒	°	分	.00秒	指定座標から変更				0	°				m	m	m

留意事項
・列の追加、削除はしないこと。
・6行目をコピーして、第6号様式(調査結果集計表)に貼り付けてください。

本調査																					様式2-2										様式3-2									
表層地質	土壌型分類	林班	小班	地籍名	森林法上の区分	土地所有区分	土地所有者と異なる者が 管理を行う場合	法令による地域指定の種類	その名称	伐採方法の指定	伐採種類	調査簿上の林種	林種細分	調査簿上の樹種	調査簿上の林齢	森林の区分	施業履歴1	実施時期1	施業履歴2	実施時期2	調査プロットサイズ	施業形態																		
																						原点から第一測点への方位角	原点からの方角（第一測点）	原点からの方角（第二測点）	原点からの方角（第三測点）	最寄りの立木番号（原点）	最寄りの立木番号（第一測点）	最寄りの立木番号（第二測点）	最寄りの立木番号（第三測点）	優占樹種	林分発達段階	植被率（高木層）	植被率（亜高木層）	なし	伐根	伐倒木	末木枝条	枝打痕		
0	00000	0000		0																	30×33m	0		%	%															

[illegible]

[illegible]

予備調査 & 予備調査

其本情報。様式1-1

基本情報&様式1-1

样式2-1

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

実 績 報 告 書

年 月 日

北海道知事 鈴木直道様

受託者 住所
氏名

業務名

年 月 日付けで契約した上記委託業務について完了したので、報告します。

記

- 1 業務完了年月日 年 月 日
- 2 成 果 品
- 3 そ の 他 成果品に附帯する著作権等一切の権利を引き渡します。



(車載用)

森林資源モニタリング調査

身 分 証 明 書

森 林 第 号
令和4年(2022年) 月 日

住所 北海道札幌市中央区南●●条西▲▲丁目

氏名 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○

所属 ■■コンサルタント株式会社

上記の者は、森林法第188条第2項の規定により、他人の森林に立ち入って測量又は実地調査をできる者であることを証明する。

事 業 名 森林資源モニタリング調査業務5区(十勝)

有効期間 自 年 月 日から
至 年 月 日まで

北海道知事 鈴木 直道

森林資源モニタリング調査業務
5区（十勝）

特 記 仕 様 書

令和4年度

北海道水産林務部林務局森林計画課

この仕様書は、森林資源モニタリング調査業務処理要領に記載されていない事項を示す特記仕様書である。

- 1 設計書の委託業務内訳書の備考欄に「概数」と記して示した調査箇所数は、推計の概数であり、森林所有者の意向や気象などの自然条件等により、変更（箇所数の増減、調査位置の変更など）が生じる場合があるので、打合せのうえ必要に応じて設計変更をする。
- 2 諸事情により、立木調査及び更新木調査が困難な場合は、打合せのうえ必要に応じて設計変更をする。
- 3 概数に係るものの実施に当たっては、業務担当員と打合せを行い承諾を得て実施すること。

新型コロナウイルス感染症に係る措置等について

森林資源モニタリング調査業務を受託する場合、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた措置等については、次により対応するようお願いします。

1 感染拡大防止に向けた対応について

- (1) 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（3つの密）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いと考えられており、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すこと等にはリスクが存在するため、極力、3つの密の回避やその影響を最大限軽減するための対策に万全を期してください。
- (2) 調査現場においては、調査を円滑に進める観点からも感染予防の対応を徹底するとともに、作業従事者等に対して、健康管理に留意するよう指導をお願いします。

また、作業従事者等に感染が判明した場合には、速やかに発注者に報告するなど、所要の連絡体制の構築を図ることや、管轄保健所等の指導に従い適切な措置を講じてください。

2 調査業務の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症に感染した作業従事者等が作業に従事できなくなることに伴い、委託期間の見直し等が必要となる場合は、発注者に申し出てください。

また、当面の間、感染拡大防止のため一時中止等の必要が生じた場合は、発注者にその意向を申し出てください。